

令和2年度（2020年度）第2回柏崎市地域公共交通活性化協議会（書面協議結果）

令和2年（2020年）7月3日付け柏交協第5号で実施した書面協議の結果を下記のとおり報告します。

記

1 書面協議における議事

議案第1号 柏崎市地域公共交通計画策定方針（案）について

議案第2号 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）（案）について

議案第3号 生活交通確保維持改善計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）について

2 書面協議回答数

21名（委員数は21名）

3 書面協議結果

1に掲げる全ての議案について、回答者全員が承認した。

また、次の意見が付された。

【議案第1号 柏崎市地域公共交通計画策定方針（案）について】

(1) アンケート実施は大切ですが、全国の過疎地での優れた取組や先進例を周知することが必要ではないでしょうか。車社会のこの地域で10年後、免許返納した後のことを想像できる様なイメージを伝えていくことも必要だと思います。【押見委員（市民代表）】

【議案第2号 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）（案）について】

(2) デマンドバスの研究などできないでしょうか。【押見委員（市民代表）】

上記の御意見について、それぞれ以下のとおり回答いたします。

(1)について

くらしの足を確保していくための先進的な取組を紹介し、市民の皆様と考えていただくことは、大変重要なことと考えております。

本協議会においては、これからの地域における「くらしの交通」について、市民の皆様と共に考える機会として、本年3月に開催を予定していた「地域公共交通シンポジウム」では、くらしの足の確保のために取り組んでいる市内の優良事例についても紹介をする予定でありました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、残念ながら開催を見送っておりますが、市民の皆様から公共交通への関心を高めていただくため、今後も様々な機会を通じて情報発信

に努めてまいります。

(2)について

今後、中山間地域における地域交通については、運行の効率化の観点から、デマンド型（予約型）も一つの選択肢だと考えております。本市においても、すでに鶉川地区、米山地区及び高柳地区で実施しておりますが、今年度は近隣の他市町村のデマンド運行の状況についても視察を行い、市内の他地域でも同運行システムを導入することができないか、その可能性について探っていくことを計画しています。

※このほか、【議案第2号 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）】について、別紙のとおり修正いたしました（朱書き箇所が修正点）ので、御確認くださいませようお願いいたします。